

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらり水島 あかり (放デイ)		公表日		R8年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・非重心との共有スペースを使って工夫して過ごしている。	・年々利用児の学年も身体のサイズも大きくなり、狭く感じることもある。 ・基準を満たしていても、歩行器や立位台、パギーを使用することを考えると手狭。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・生活動作で人手が欲しい時は、食事・排泄・午睡等、非重心職員からのフォロー体制をとっている。	・学童利用児の多い曜日は、マンパワー不足を感じる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	・個に合わせた手すりの設置。	・トイレや水道等、未就学児用の設備のため、放デイ利用児には適していない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・空間に合わせた活動を実施。広い空間は非重心との共有スペースで、時間をずらして設定している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3		・利用数や曜日によって、個別対応が難しい場面が発生する。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部研修に参加しやすい。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・契約説明会や年度初めに説明している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		・重症児など、やりとりや意思表示の難しさがあるお子さんのニーズ把握は課題。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		・検討はしているが、共有時間・支援の準備時間が十分ではない。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・アセスメント評価は確認しているものの、支援に繋げていく時間が不十分。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・季節ごとのレクリエーションはチームで立案・準備・実施・振り返りができている。	・日々の活動プログラムは、正規職員が担っていることが多い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・平日は勤務時間が異なるため、周知連絡をボード・記録等で実施している。	・昨年度に比べ送迎が増えたことにより、職員全員で話し合う時間がとりにくくなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・職員が全てを提供するのではなく、利用児の選択の機会や練習を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・所属校や相談支援専門員との共有を図っており、定期的にケア会議等に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・送迎のある学校は行事予定表をもらって、時間の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・他放デイからの移行ケースについては、移行前に引き継ぎを実施し、必要な支援は継続できるようにした。	・開所以来、学校を卒業した利用児がいない（卒業ケースがない）。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・センター主催の研修・保護者勉強会の案内があり、職員も代表者（希望者）が参加している。 ・法人内セラピストの派遣を依頼し、評価助言してもらえる仕組みがある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・近くの児童館や公園に出向く活動を設けている。	交流の場をもっと設ける。その為の職員配置を調整する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・放デイ部会には、法人内放デイ事業所で相談して、代表者が参加し、内容を周知している。	・部会主催の研修に、時間都合上限られた職員しか参加できない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・利用毎の引き継ぎ時間を設け、様子や課題等を共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・年2クール実施。 ・今年度は他事業所から放デイ利用保護者の参加があった。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		・本人への説明と同意を得る手立ては、要検討。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	・きょうだい児支援は、ニーズに合わせて終了児活動や公益活動に案内している。 ・キッズボランティアとして活躍できる場がある。	・交流は必要ではあるものの、働く保護者が多く、きょうだいの年齢幅が広く、事業所としての実施は実現できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・明確なルールを作り、同意書を交わしている。 ・事業所内研修で共通認識を図っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・事業所や法人内の公益活動を案内している。	・参加が得られにくい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・年間計画に沿って実施している。	・放課後や土曜といった放デイ利用時間帯の訓練を別途計画する必要あり。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・備えているものの、実際の訓練は不十分。 ・災害訓練の年間計画書に各曜日実施できるよう予定しておく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・てんかん研修に参加。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・安全計画に沿った研修や訓練は実施できている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・前日発生した事象は翌朝の朝礼で要因と対策を周知するようにしている。 ・月末の職員会議にて、再確認と、リスク委員会に傾向を報告して、法人内のヒヤリ事故を取りまとめている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・法人単位や事業所内の研修を通して、職員が意見を出し合う等して人権意識を高められる機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			